

一般質問

(2〜5面中段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は23人31件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

地域防災センターの建替え どのように進めていく考えか

計画的保全の取組を進め
センターに求められる機能等も
検討していく必要がある

横田実 議員(市政) 市内18か所に設置されている地域防災センターの役割について聞きたい。

市長 本市では、消防団各分団の警戒区域ごとに1か所ずつセンターを設置しており、消防活動や地域防災の中核的な拠点として重要な役割を担う施設であると捉えている。

議員 センターの多くが昭和57年から61年の間に竣工されたものであり、今後、老朽化による多くの課題が発生するものと考えられる。全センターを建て替えるに当たっては、多くの費用と時間が必要になると思うが、建替えについて、市はどのように進めていく考えか。



▲地域防災センター

ことから、今後、施設の劣化状況を把握し、計画的保全の取組を進め、センターに求められる役割や機能についても検討する必要があるものと考えている。

他 防災行政無線放送の活用について

一括質問

消防ポンプ車の運転に必要な補助中型免許の取得費用を
関係団体と連携を図る中で
どのようないきか

加藤雅大 議員(市政)

消防団については、近年、団員の確保に苦慮している状況にある。地域防災の盾として、市民の生命と財産を守っていくためにも、消防団員の安定的かつ適正な人員確保の対策が必要と考える。

そこで、消防団での活動実績が学生等の就職活動への支

援につながる、学生消防団活動認証制度を実施する考えはないか。

行政管理局長 近隣市の事例を研究し、実施の可否について検討していく。

議員 道路交通法の改正により、新たに普通免許を取得する場合、車両総重量5トンクラスの消防ポンプ車の運転が

地域における子育て家庭に対する 支援についで どのように取り組む考えか

利用者支援の場などを通じて
実践的な支援を行っていききたい

松村祐樹 議員(市政) 市子ども・子育て支援計画の策定から約2年が経過したが、これまでの成果と課題について聞きたい。

子ども・子育て支援計画の策定から約2年が経過したが、これまでの成果と課題について聞きたい。

子ども家庭部長 成果については、保育施設の整備促進や相談体制の充実を図ることなどにより、着実な子育て支援へとつなげることができているものと捉えている。

課題については、保育二丁量を超える需要が生じていることから、提供事業量の見直しなどを行う必要があるものと考えている。

議員 子育て家庭にはそれぞれ希望する子育ての環境があることから、施設整備の面だけではなく、在宅で子育てを希望する家庭への支援も重要と考えるが、地域における支

援について、今後どのように取り組む考えか。

子ども家庭部長 ひろば事業や利用者支援の場を通じて実践的な支援を行い、更に専門的な支援が必要となった場合は、専門機関と連携しながら支援の強化に努めていく。

府中のにぎわい創出において 民間企業を活用する考えは

国が民間人材等を派遣した
自治体の効果を検証していききたい

臼井克寿 議員(市政) 平成29年は、府中駅南口再開発ビルの完成や一般社団法人まちづくり府中の設立、大國魂神社のみこし渡御のルート変更など、大きな動きがあったと考えるが、更なる府中のにぎわい創出について、市はどのように考えているのか。

市長 ラグビーワールドカップ2019の開催など、府中の魅力を発信する絶好のチャンスを生かしながら、新たなにぎわいを市全体で創出するための取組を進めていききたい。

議員 多くの自治体では、民間企業を活用したまちづくりを進めているが、民間のノウハウを利用した府中のにぎわい創出について、市はどのように考えているのか。

生活環境部長 国は、地域課題の解決において、積極的に民間の企画力等を活用する考えから、27年度より市町村への民間人材等の派遣を行っており、本市でも派遣自治体でどのような効果があるか十分に検証していききたい。

本市の観光行政における 将来像は

市観光振興プランにおける
基本理念の実現された姿が
将来像と捉えている

村木茂 議員(市政) 本市の観光行政の推進に当たっては、観光によるにぎわいの創出や地域経済の活性化が重要と思

うが、観光行政の将来像について聞きたい。

市長 平成24年に策定した市観光振興プランでは、おもてなしの心を持って地域の観光価値を高めることなどで誘客を図り、にぎわいを創出することを基本理念としている。

議員 けやき並木や駅前商業施設、武蔵府中能野神社古墳などの観光資源としてのハード面は多くあるものの、ソフト面においては、行政と民間、両者の活力が

健康寿命の増進につながる 選択肢を提案する考えは

培ってきた経験や技能等を
生かして活動でき
中間支援に取り組んでいききたい

増山明香 議員(市政)

健康寿命の延伸に向け、本市では様々な取組を行っているが、中でも孤立化を防ぎ、地域とのつながりを強化するための老人クラブに期待する役割を聞きたい。

福祉保健部長 老人クラブでは、会員の健康増進や生きがい活動、社会奉仕活動を積極的に進めている。特に、閉

じこもりがちなが、観光行政の将来像になるものと考えている。



▲府中市老人クラブ連合会が行う介護予防体操

じこもりがちなが、観光行政の将来像になるものと考えている。

市民協働推進部長 特に、退職を機に新たな市民活動に参加したいという方について、これまで培ってきた経験や技能を生かして活動できる中間支援に取り組んでいききたいと考えている。



▲武蔵府中能野神社古墳まつりにて

※()内は、会派名を略して掲載しました。市政…府中市議会市政会 市フォ…府中市議会市民フォーラム 公明…府中市議会公明党 共産…日本共産党府中市議団 ネット…生活者ネットワーク